

2022年2月2日

会社名 株式会社ピーエムティー

代表者名 代表取締役 京谷忠幸

TEL 092-933-3110

福岡県グリーンデバイス開発・生産拠点協議会への参画について

2022年2月2日、産・学・官による「福岡県グリーンデバイス開発・生産拠点協議会」が発足しました。

株式会社ピーエムティー（本社：福岡県須恵町、以下「弊社」）は県内の半導体関連企業として同協議会に参画しており、代表の京谷忠幸が服部誠太郎福岡県知事や参画企業各社とともに、同日、福岡県庁で行われた発足会見に出席しました。



発足会見に出席した京谷（左）＝福岡県庁

■ 発足の背景

DX化などによる半導体需要の急速な拡大に伴い、供給不足の解消が喫緊の課題となっており、また、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）の実現に向け、グリーンデバイス¹の開発や安定供給に対するニーズが、今後、飛躍的に増加することが見込まれます。

また、2021年11月には、世界トップクラスの半導体受託製造メーカーであるTSMC社が

News Release

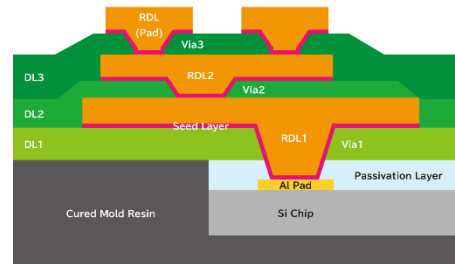
ソニーセミコンダクタソリューションズ社と共同で熊本県に工場を新設することを発表し、「シリコンアイランド九州」の存在感が再び高まる一方、人材不足などの課題も顕在化しています。

こうした背景を踏まえ、福岡県では、約 400 社にのぼる半導体関連企業や、半導体人材の育成を担う理系の教育機関、企業の研究開発を支援する公的研究機関が数多く立地する強みを活かしながら、カーボンニュートラル時代の半導体開発・生産の拠点化を目指すため、安定供給に向けた共同研究開発や企業誘致、人材の育成・確保などを目的とし、同協議会を設立しました。

■ 弊社の主な半導体関連事業



マスクレス露光装置



パッケージファウンドリ

DMD と呼ばれる表示素子によって、半導体ウェハ上にパターンを直接描画する装置の開発・製造を行っています。フォトマスクを製作する必要がないため、半導体デバイス試作のサイクルタイム削減が期待できます。

FOWLP や WLCSP など、先端パッケージに特化した受託製造サービスです。パッケージ基板を必要としない再配線設計により、従来型のパッケージより小型・低背化が可能。任意の位置に bumps を形成することができます。

■ 本ニュースリリースに対するお問い合わせ先

株式会社ピーエムティー
広報チーム 黒木 伸彦

E-mail marketing@pm-t.com
TEL 092-933-3110

ⁱ 省エネルギーに直結するパワー半導体や低消費電力化を実現する半導体、およびその関連製品など